

4. 各取引段階の“価格”の変化

173

米の価格形成メカニズム

各取引段階における米の価格は各事業者間の交渉による相対取引が基本。米全体の価格変動や各産地品種銘柄の“ポジション”により相場が形成される。そのポジションの指標となるのが農林水産省発表の「相対取引価格」である。

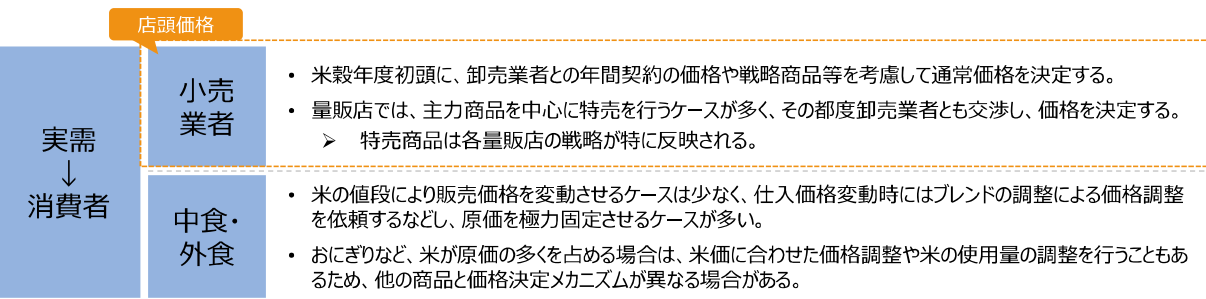
概要	
生産者 ↓ 集出荷団体 相対取引価格	- 全農は、9月上旬を目途に、都道府県ごとに概算金のおおよその額を決定する。概算金の額は、米の予想流通量・集荷希望量・他産地産との位置づけを加味して各都道府県の「ランク」で相対的な価格を設定。 - 各単協は、各全農の示す概算金の額を基準に微調整を実施。または、相場予想により買取の金額を決定。 - 各集出荷業者は、各地域における概算金額や単協・他社の買取金額を基準に、買取価格を提示。 - 他の事業者と競合する地域から集荷する場合や絶対に必要な場合は上乗せするケースも存在。
集出荷団体 ↓ 卸売業者	- 全農は流通経費を考慮し、「販売したい金額」として全農相対基準価格を設定。 - 各集出荷団体は、年間契約分について販売量も考慮しつつ全農相対基準価格を参考に販売価格を決定。 - 引取形式(自社引取・配送)や保管期間なども考慮して価格を調整する。 - スポット販売分については、全体の需給及び当該産地品種銘柄の需給状況を考慮しつつ、日本農産情報、クリスタルライス等のデータも参考にして、随時取引価格を形成。
卸売業者 ↓ 実需	店頭販売用 - 米穀年度初頭に、全農相対基準価格・農林水産省発表の相対取引価格や仕入価格(自社集荷の場合は集荷金額)など相場情報を参考に価格を決定し、年間契約を行う。 - 特売により販売量を増やせるため、供給過剰・在庫過剰時は価格を下げて販売することもある。 - 同一店舗においても、銘柄ごとに供給の可否や価格を加味して複数事業者が納品しているケースは多い。 業務用 - 単一銘柄やブレンド比率を指定して年間量を定めた上で実需側が発注する場合、相場価格等を参考に年間販売価格を決定する。 - 実需側が希望価格を提示する場合、卸売業者が価格と希望する食味に応じてブレンドを調整して提案する。 - 数ヶ月単位でコンペ形式により取引先の決定が行われるケースが多く、その場合価格が訴求要因となる。

データ出所：ヒアリング結果

174

特に量販店においては、集客目的で戦略的に米の特売を行うケースが多く、消費者が目にする店頭価格は、卸売業者からの仕入価格や通常価格とは必ずしも連動しない。

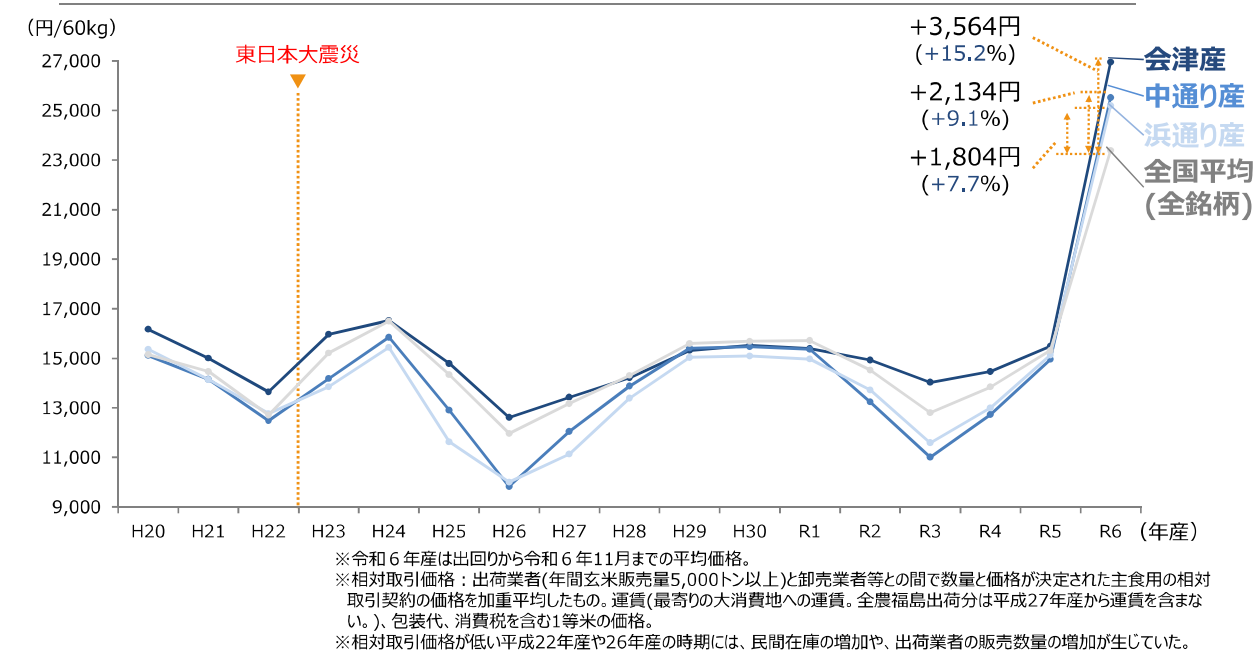
概要



福島県産米の相対取引価格動向 ①全国平均との比較

中通り産・浜通り産コシヒカリは、平成23年産以降、全国平均（全銘柄）を下回る傾向だったが、令和6年産では、会津産・中通り産・浜通り産全てが全国平均を上回っており、順に全国平均より3,564円、2,134円、1,804円上回っている。

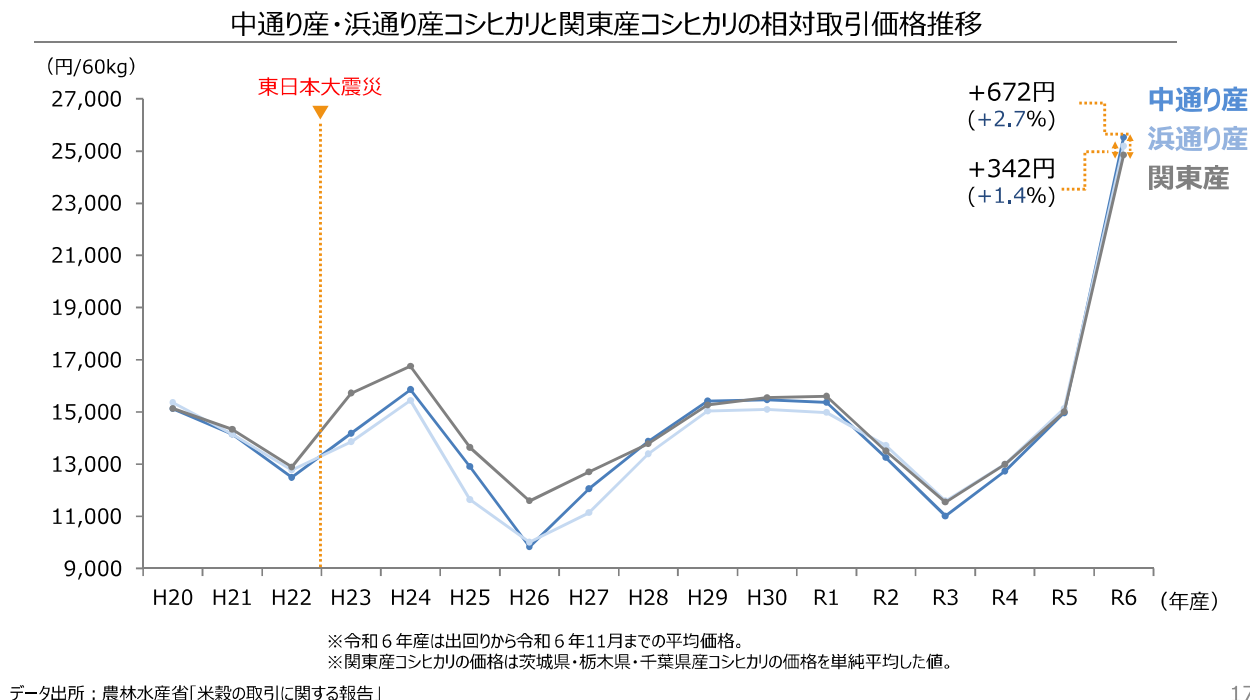
会津産・中通り産・浜通り産コシヒカリと全国平均の相対取引価格推移



データ出所：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

福島県産米の相対取引価格動向 ② 関東産コシヒカリとの比較

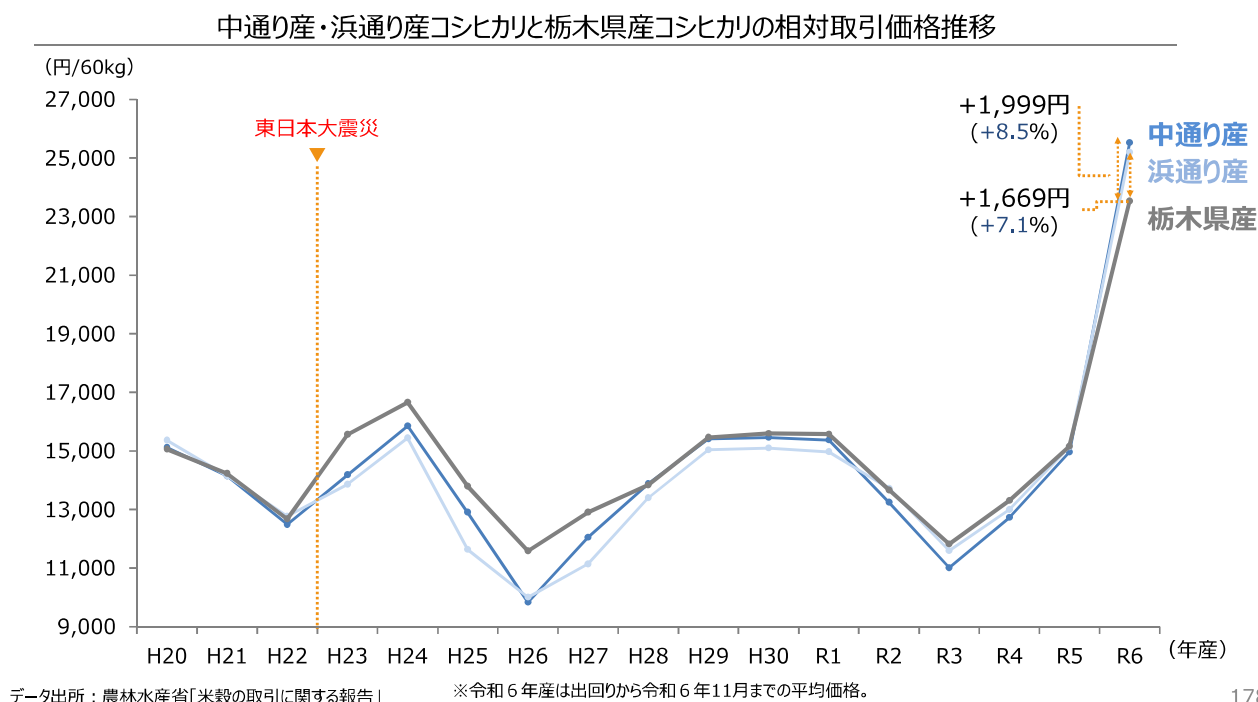
中通り産・浜通り産コシヒカリと関東産コシヒカリとの価格差は、平成27年産～平成29年産にかけて縮小した後、同程度からやや下で推移。令和6年産は、中通り産・浜通り産どちらも関東産を上回っており、順に関東産よりも672円、342円上回っている。



177

福島県産米の相対取引価格動向 ③ 栃木県産コシヒカリとの比較

中通り産・浜通り産コシヒカリは、震災以前は栃木県産コシヒカリと同様の価格水準だったが、震災直後に差が拡大。平成26年産をピークに差は縮小傾向にあったが、令和6年産では栃木県産よりも中通り産は1,999円、浜通り産は1,669円上回っている。

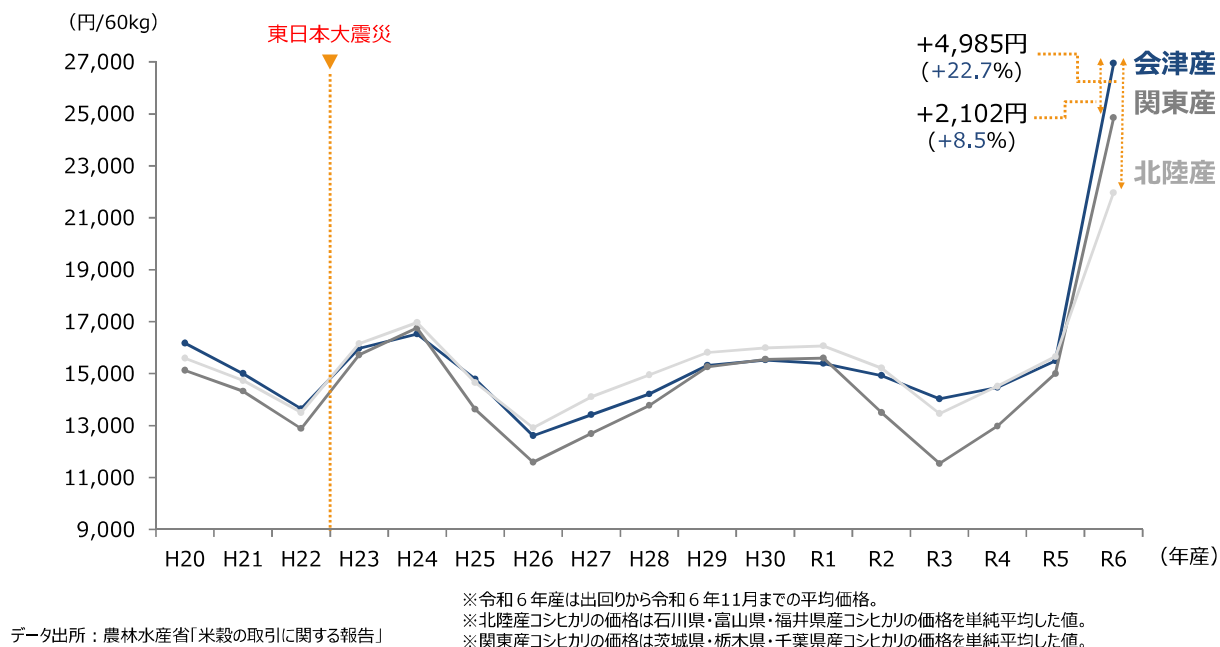


178

福島県産米の相対取引価格動向 ④北陸産・関東産コシヒカリとの比較

会津産コシヒカリは、震災後に北陸産コシヒカリと価格ポジションが逆転。令和3年産は北陸産より上位、令和4・5年産は再び北陸産より下位と近年変動が続いていたが、令和6年産は4,985円上回っている。また、関東産よりは概ね上位に位置。

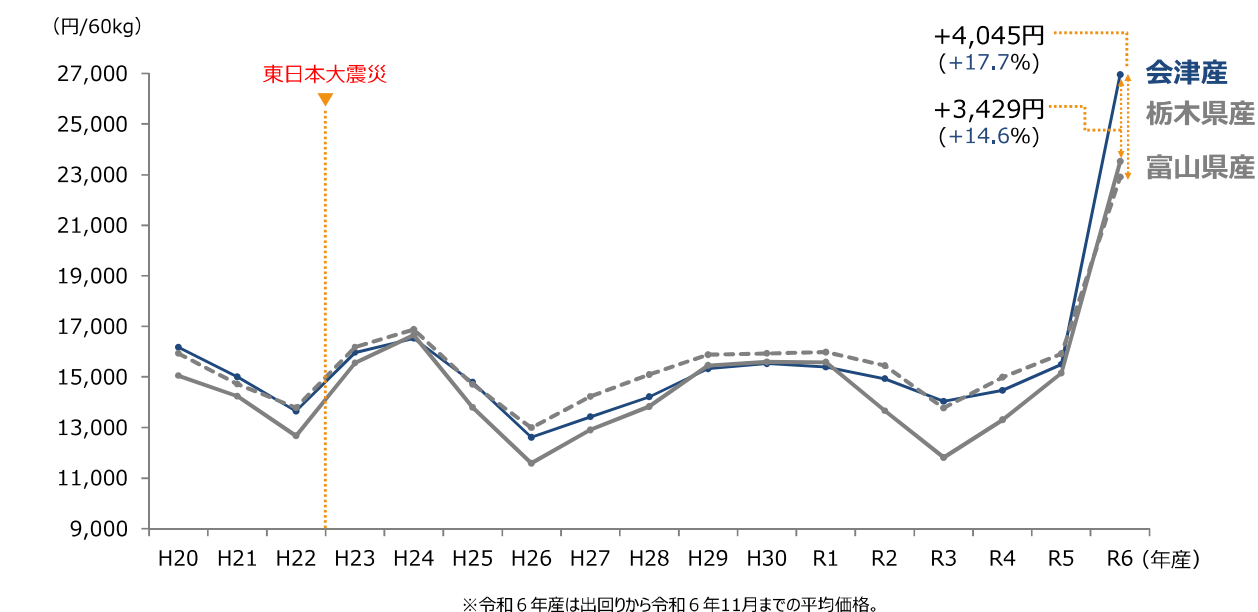
会津産コシヒカリと北陸産・関東産コシヒカリの相対取引価格推移



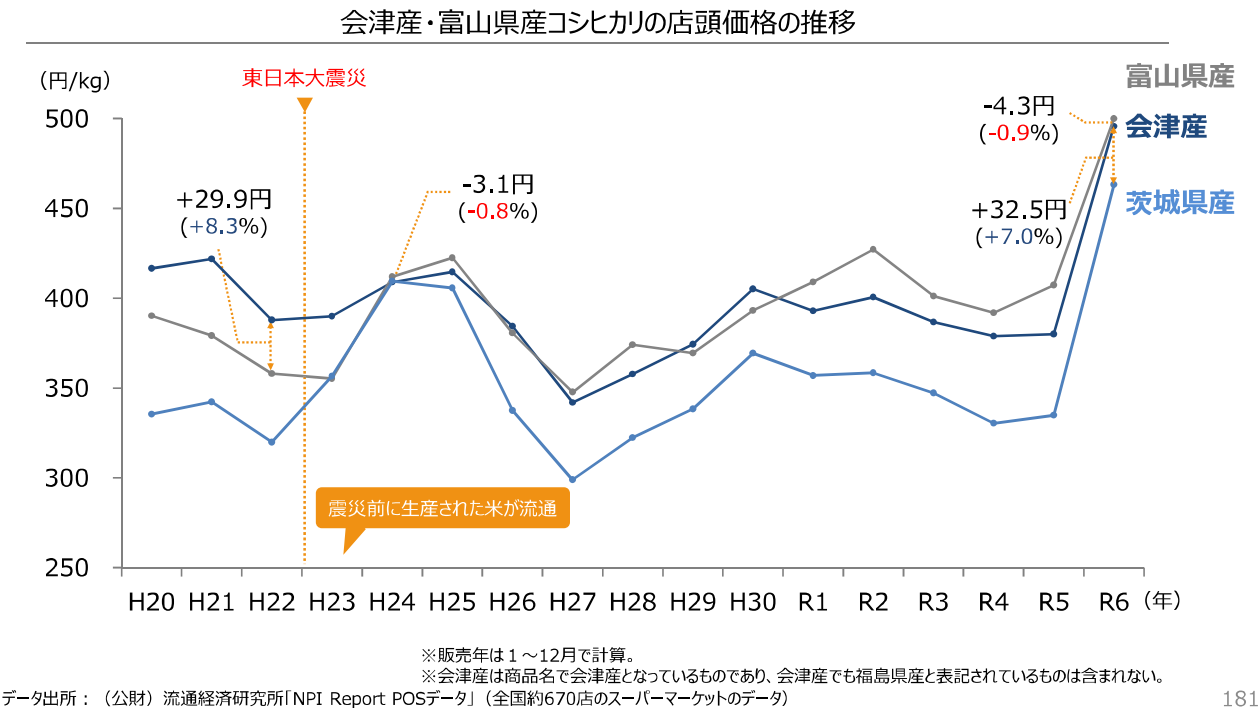
福島県産米の相対取引価格動向 ⑤富山県産・栃木県産コシヒカリとの比較

会津産コシヒカリは、震災後に富山県産コシヒカリと価格ポジションが逆転。令和3年産は富山県産より上位、令和4・5年産は再び下位と近年変動が続いていたが、令和6年産は4,045円差で上位に位置。また、栃木県産より概ね上位に位置。

会津産コシヒカリと富山県産・栃木県産コシヒカリの相対取引価格推移



会津産コシヒカリの店頭価格は、令和元年以降富山県産コシヒカリを下回っている一方で震災前と同様に茨城県産より高い価格で推移している。



会津産コシヒカリは、震災前後で、小売店における相対価格比率(相対取引価格／店頭価格)に大きな変化はなく、他県産同様、相対取引価格と連動した店頭価格となった。令和5年産は相対取引価格の上昇に対し、会津産に限らず相対価格比率が下がった。

小売店における主要産地のコシヒカリの付加価値率の推移

販売年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
(参考：主な生産年)	H19産	H20産	H21産	H22産	H23産	H24産	H25産	H26産	H27産	H28産	H29産	H30産	R1産	R2産	R3産	R4産	R5産
福島(中通り産) 相対取引価格	258	280	262	231	263	294	239	182	223	257	285	286	285	245	204	236	277
福島 コシヒカリ 店頭価格	355	363	344	342	366	362	324	0	0	0	0	0	0	444	0	0	0
相対価格比率	72.6%	77.1%	76.2%	67.6%	71.7%	81.1%	73.8%	-	-	-	-	-	-	55.2%	-	-	-
福島(会津産) 相対取引価格	277	299	278	253	296	306	274	234	249	263	284	288	285	276	260	268	287
会津 コシヒカリ 店頭価格	417	422	388	390	409	415	384	342	358	374	405	393	401	387	379	380	496
相対価格比率	66.4%	71.0%	71.6%	64.8%	72.3%	73.8%	71.3%	68.3%	69.5%	70.4%	70.1%	73.2%	71.1%	71.5%	68.6%	70.5%	57.9%
茨城 相対取引価格	255	283	266	242	293	309	252	216	234	255	283	288	287	247	212	243	282
茨城 コシヒカリ 店頭価格	335	342	320	357	410	406	337	299	322	338	369	357	358	347	330	335	463
相対価格比率	76.1%	82.7%	83.3%	67.9%	71.4%	76.2%	74.8%	72.3%	72.7%	75.5%	76.7%	80.6%	80.1%	71.1%	64.0%	72.5%	60.9%
千葉 相対取引価格	262	278	266	239	293	313	250	213	232	254	278	287	291	250	211	232	271
千葉 コシヒカリ 店頭価格	347	347	345	349	382	374	323	305	339	358	365	382	378	351	344	352	538
相対価格比率	75.4%	80.1%	77.0%	68.4%	76.6%	83.6%	77.3%	70.0%	68.5%	71.0%	76.3%	75.2%	77.0%	71.3%	61.4%	65.9%	50.3%
新潟(魚沼以外) 相対取引価格	304	318	302	290	341	339	309	286	300	300	313	316	322	305	289	307	313
新潟 コシヒカリ 店頭価格	422	415	389	404	443	427	388	381	418	426	438	461	460	430	428	440	536
相対価格比率	72.0%	76.7%	77.6%	71.8%	76.9%	79.4%	79.8%	75.0%	71.8%	70.3%	71.6%	68.5%	70.0%	71.1%	67.4%	69.6%	58.4%
富山 相対取引価格	275	295	273	255	300	313	272	241	263	280	294	295	296	286	255	277	295
富山 コシヒカリ 店頭価格	390	379	358	355	412	422	381	348	374	369	393	409	427	401	392	407	500
相対価格比率	70.5%	77.8%	76.1%	71.9%	72.7%	74.0%	71.6%	69.2%	70.4%	75.8%	74.8%	72.2%	69.3%	71.3%	65.1%	68.1%	58.9%
平均相対価格比率	72.2%	77.6%	77.0%	68.7%	73.6%	78.0%	74.8%	71.0%	70.6%	72.6%	73.9%	73.9%	73.5%	68.6%	65.3%	69.3%	57.3%

データ出所：（公財）流通経済研究所「NPI Report POSデータ」（全国約670店のスーパーマーケットのデータ）、農林水産省「相対取引価格データ」

※付加価値率は相対価格比率(相対取引価格／店頭価格)と定義。

※「新潟(魚沼以外)」については、新潟県産コシヒカリ(一般)の数値を使用。

※店頭価格の会津産コシヒカリは商品名で会津産となっているものであり、会津産でも福島県産と表記されているものは福島県産コシヒカリに含まれている。

※相対取引価格は各年産における玄米60kgの平均価格を54で除して精米1kgの価格に換算。

店頭価格は翌年1～12月に販売された同銘柄における精米1kgの平均価格。

※福島県産コシヒカリはデータ対象店舗において平成27年から平成30年まで取扱い実績無し。

※令和元年～令和6年の福島県産コシヒカリは取扱いが少ないため除外した。

関東地区の小売業者において、福島県産コシヒカリは、震災前には20%以上の取扱店率があったが、震災後は大幅に減少し、近年も改善していない。会津産コシヒカリは、震災前は15～20%程度であったが、震災後は徐々に減少し、近年は10%程度で推移。

取扱店率の推移【関東地区】

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
会津コシヒカリ	17.4%	14.8%	18.4%	21.1%	10.6%	19.7%	11.1%	5.1%	5.7%	6.1%	5.5%	12.9%	8.1%	9.1%	9.6%	10.2%	10.2%
福島県産コシヒカリ	26.1%	35.8%	26.4%	23.2%	3.8%	0.7%	1.6%	0.0%	0.0%	4.5%	2.8%	2.6%	5.2%	2.4%	1.2%	0.6%	0.6%
新潟コシヒカリ	85.5%	75.3%	79.3%	80.0%	82.7%	92.3%	91.3%	94.1%	93.4%	93.9%	96.6%	95.4%	93.6%	89.0%	98.2%	92.2%	98.7%
北海道ゆめぴりか	0.0%	0.0%	8.0%	42.1%	71.2%	81.7%	89.7%	89.8%	92.6%	69.7%	90.3%	90.7%	85.0%	75.0%	88.6%	93.4%	96.8%
北海道ななつぼし	26.1%	25.9%	33.3%	50.5%	45.2%	67.6%	85.7%	89.0%	90.2%	89.4%	84.8%	86.6%	76.9%	79.3%	90.4%	90.4%	92.4%
秋田あきたこまち	84.1%	81.5%	85.1%	87.4%	84.6%	79.6%	88.1%	89.8%	89.3%	86.4%	87.6%	90.2%	86.1%	87.2%	86.2%	86.8%	89.8%
魚沼コシヒカリ	63.8%	70.4%	81.6%	81.1%	76.0%	78.2%	81.0%	92.4%	69.7%	74.2%	72.4%	87.1%	75.1%	79.9%	80.2%	81.4%	82.2%
山形つや姫	0.0%	0.0%	24.1%	43.2%	48.1%	80.3%	84.9%	65.3%	63.9%	65.9%	72.4%	70.6%	76.3%	77.4%	90.4%	89.8%	93.0%
富山コシヒカリ	29.0%	43.2%	37.9%	42.1%	39.4%	53.5%	51.6%	51.7%	63.9%	61.4%	41.4%	46.4%	42.2%	36.0%	38.9%	33.5%	35.7%
茨城コシヒカリ	37.7%	32.1%	37.9%	47.4%	53.8%	45.8%	46.8%	44.9%	39.3%	30.3%	45.5%	37.1%	38.7%	31.7%	35.3%	29.9%	43.9%
千葉コシヒカリ	59.4%	34.6%	58.6%	51.6%	53.8%	52.1%	59.5%	54.2%	45.1%	31.8%	53.1%	44.3%	44.5%	40.2%	29.9%	29.3%	44.6%
石川コシヒカリ	1.4%	1.2%	6.9%	17.9%	9.6%	12.7%	12.7%	15.3%	10.7%	9.1%	16.6%	12.4%	12.1%	12.2%	10.2%	9.6%	12.7%
実店舗数	69	81	87	95	104	142	126	118	122	132	145	194	173	164	167	167	157

出所：（公財）流通経済研究所 NPI Report POSデータ（全国約670店のスーパーマーケットのデータのうち関東地区の店舗に限定）
※販売年度は1～12月で計算 ※H28以降は商品名に産地、品種が明記されている商品のみ集計の対象としている。

価格形成に関する事例調査(追跡調査) の概要

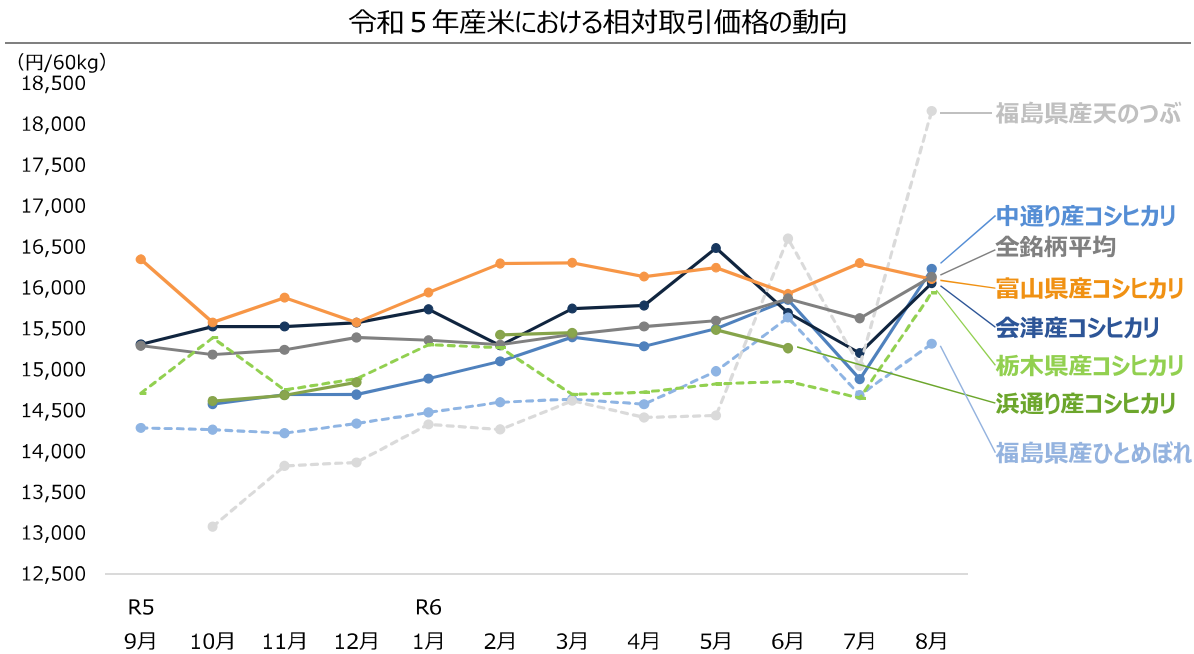
価格形成に関する事例調査(追跡調査)を行い、福島県産米の価格形成に関する分析を実施した。

概要

概要・目的	・ヒアリング等により取引段階ごとの取引価格、販売価格に係る調査を実施し、推移の実態を分析する。 ・他県産の同品目についても調査の上、比較分析を行う。
対象商品	・福島県産米(令和5年産)：福島県産コシヒカリ(中通り産・浜通り産コシヒカリ)・会津産コシヒカリ ※福島県産米は補足的に天のつばとひとめぼれのデータを取得 ・他県産米：栃木県産コシヒカリ・富山県産コシヒカリ
対象期間	・データ取得回数：3回 (令和5年10月～令和6年9月までの令和5年産米取扱時期のうち3時点)
調査ルート	・下記の流通ルートそれぞれを調査。（栃木県産米・富山県産米も調査） ルート①：生産者→県内JA全農→県内外卸売業者等→小売業者等 ルート②：生産者→JA単協・集出荷業者等→県内外卸売業者等→小売業者等

価格形成に関する事例調査(追跡調査) ～前提となる令和5年産米における相対取引価格の動向

令和6年6月～8月にかけて極端な価格変動があるものの、令和5年産米について、会津産コシヒカリを除く福島県産米の取引価格は、全銘柄平均・富山県産コシヒカリをほぼ下回っている。一方で、栃木県産コシヒカリとは同程度の水準であることが多い。



データ出所：農林水産省「米穀の取引に関する報告」
※データがない箇所については、当該月の相対取引契約がなかったもの、又は当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表を行わなかったもの。

価格形成に関する事例調査(追跡調査) の対象事例数

流通ルート別・エリア別の調査実施件数は下記のとおり。

調査対象流通ルート								
県産	流通類型	産地品種銘柄	ルート数		合計	エリア別※		
			完了数	(アプローチ数)		県内	首都圏	その他
福島県	①(全農経由)	福島県産コシヒカリ	3	(5)	3	1	1	1
		会津産コシヒカリ	3	(5)	3	1	1	1
		ひとめぼれ	1	(4)	1	0	1	0
		天のつづ	1	(2)	1	0	0	1
	②(単協・集荷業者直販)	福島県産コシヒカリ	4	(18)	4	2	2	0
		会津産コシヒカリ	4	(6)	4	2	2	0
		ひとめぼれ	6	(6)	6	4	2	0
栃木県	①(全農経由)	栃木県産コシヒカリ	1	(1)	1	0	1	0
	②(単協・集荷業者直販)	栃木県産コシヒカリ	2	(2)	2	0	0	2
富山県	①(全農経由)	富山県産コシヒカリ	2	(6)	2	0	0	2

※エリア別の項目の定義は、それぞれ以下の通り。
県内：福島県内で展開している量販店 首都圏：首都圏のみ展開している量販店 その他：北海道・東海圏で展開している量販店

平均小売販売価格については、栃木県産コシヒカリが最も高く、次いで富山県産コシヒカリ、会津産コシヒカリが高い結果となった。

調査対象ルートにおける平均小売販売価格(令和5年産)

産地品種銘柄	流通類型	平均販売価格
会津産コシヒカリ	①(全農経由)	475.1
	②(単協/集荷業者直販)	443.7
	全類型平均	457.2
富山県産コシヒカリ	①(全農経由)	475.0
	全類型平均	475.0
栃木県産コシヒカリ	①(全農経由)	498.0
	②(単協/集荷業者直販)	505.0
	全類型平均	502.7
福島県産コシヒカリ	①(全農経由)	441.9
	②(単協/集荷業者直販)	463.8
	全類型平均	454.4
福島県産天のつば	①(全農経由)	398.0
	全類型平均	398.0

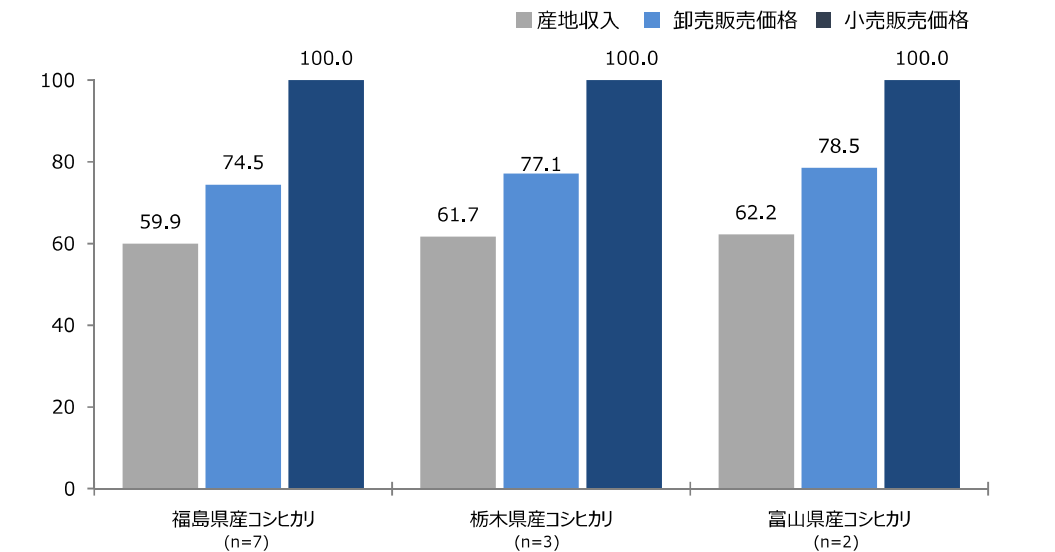
※数値は該当する種別で取得したサンプルの平均値。

※「福島県産コシヒカリ」として表記されて販売されるものは「中通り産」「浜通り産」が中心。

(単位：円/kg)

福島県産コシヒカリと、栃木県産コシヒカリや富山県産コシヒカリとの比較において、産地・卸売・小売の各流通段階における価格形成に明確な違いは見られなかった。

令和5年産米における価格形成(産地間比較)

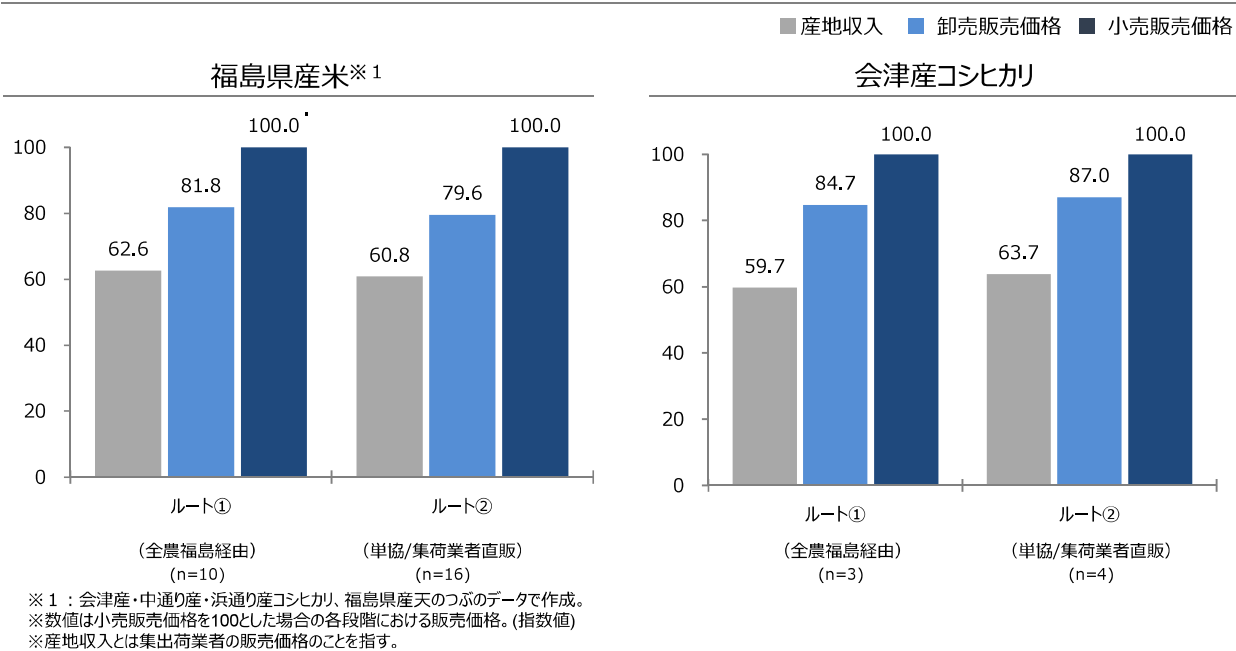


※数値は小売販売価格を100とした場合の各段階における販売価格。(指数値)

※産地収入とは集出荷業者の販売価格のことを指す。

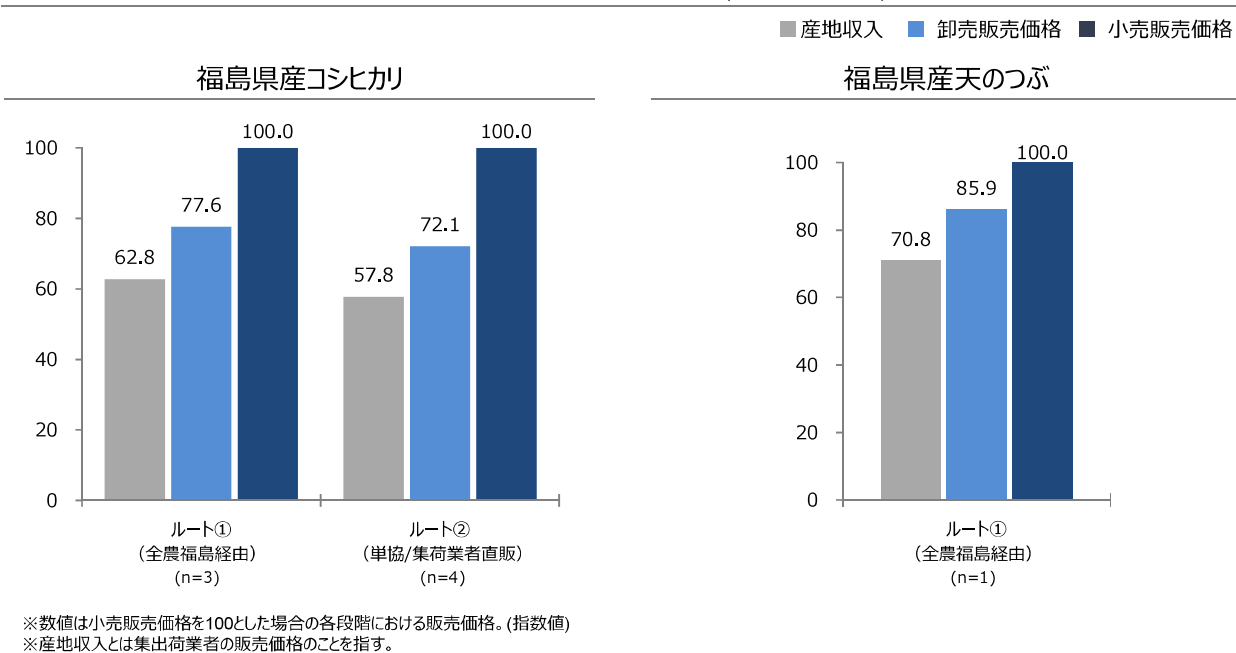
流通ルート別で見ると、会津産コシヒカリを除いて、ルート②は自社集荷して販売し、全体的に単価が低い事例も含まれることから、相対的に産地収入がやや低い状況。

令和 5 年産米における価格形成(流通ルート別)



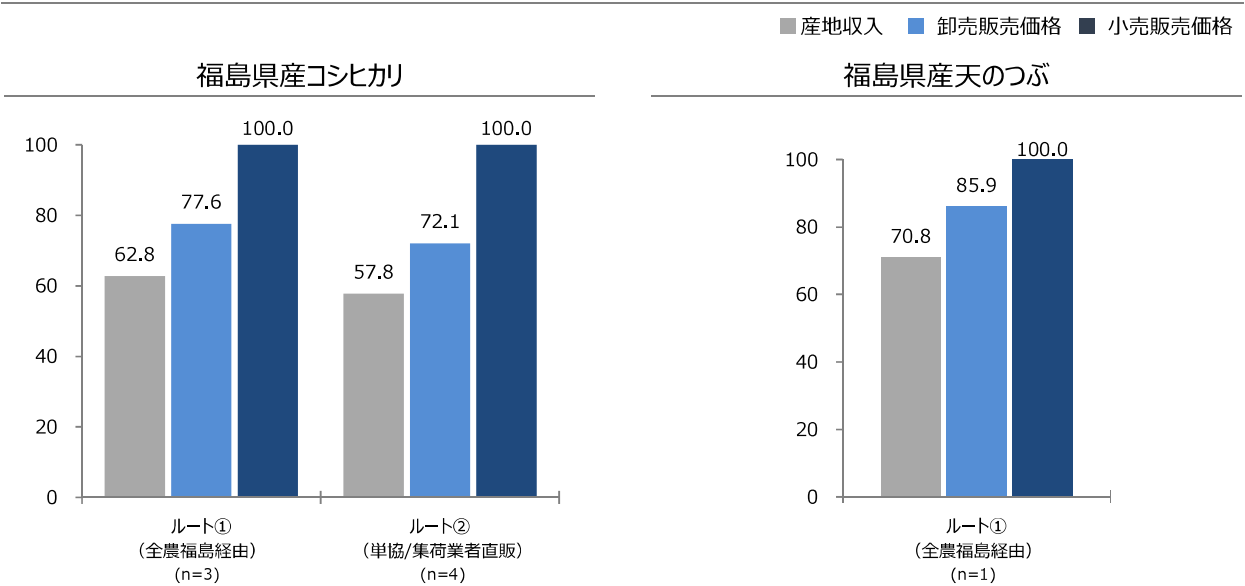
(前ページからの) 流通ルート別比較の続き。

令和 5 年産米における価格形成(流通ルート別)



(前ページからの) 流通ルート別比較の続き。

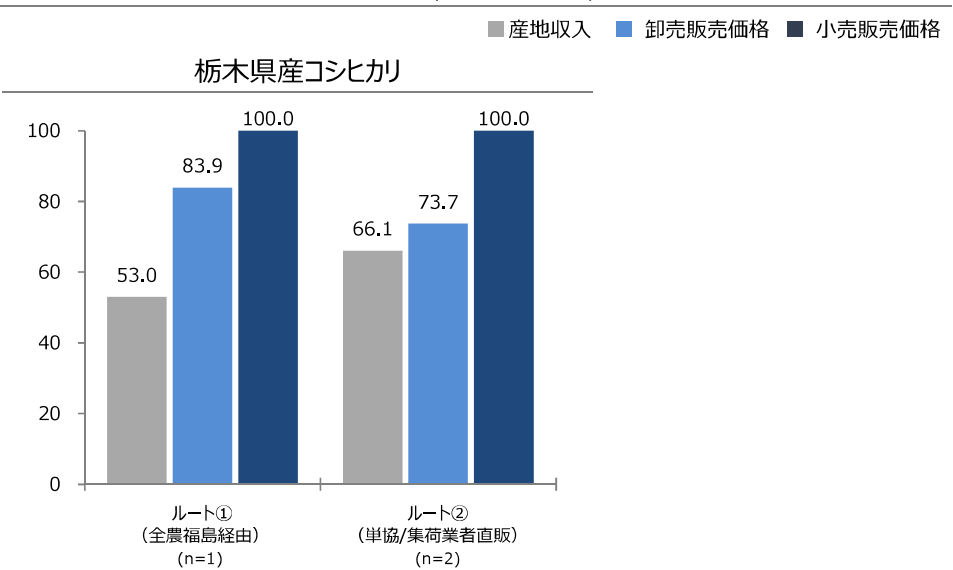
令和 5 年産米における価格形成(流通ルート別)



※数値は小売販売価格を100とした場合の各段階における販売価格。(指数値)
※産地収入とは集出荷業者の販売価格のことを指す。

(前ページからの) 流通ルート別比較の続き。

令和 5 年産米における価格形成(流通ルート別)



※数値は小売販売価格を100とした場合の各段階における販売価格。(指数値)
※産地収入とは集出荷業者の販売価格のことを指す。